

果物(ぶどう・もも・いちご・梨・柿)の輸出

平成28年の果物の輸出金額は全国、近畿圏ともに過去最高！！

ぶどう、もも、梨、柿の輸出金額シェアは近畿圏が第1位！！

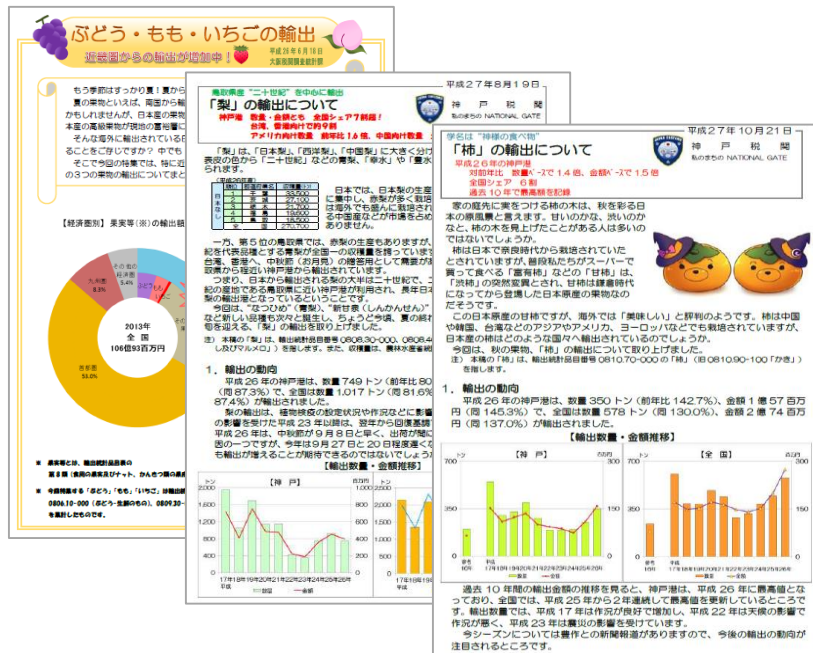
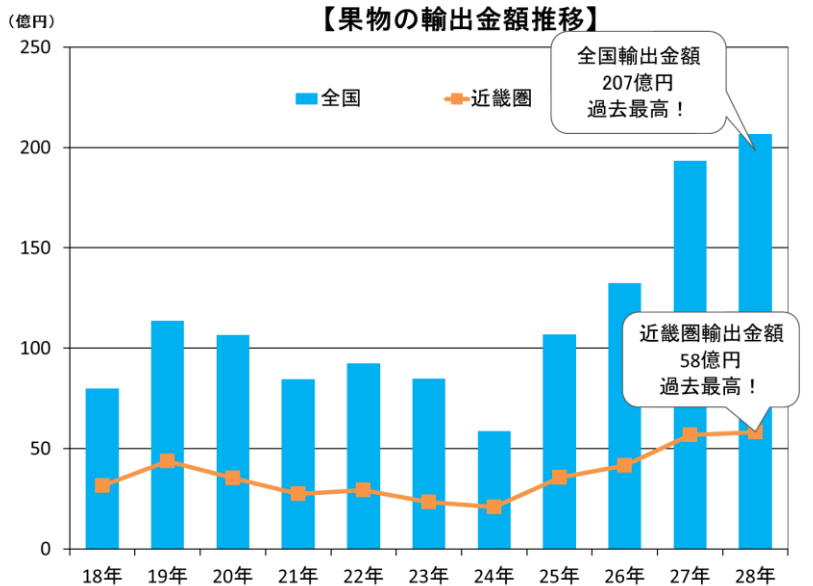
輸出先は香港、台湾などアジアが中心！！

○はじめに

近年、農林水産物・食品の輸出
促進への取り組みが官民一体と
なっているところですが、
平成28年の全国の果物の輸出は
初めて200億円を超え、過去最高と
なりました。近畿圏からの輸出も過
去最高の58億円となりました。

過去、近畿圏から輸出の多い果物のうち、大阪税関が「ぶどう」「もも」「いちご」について、神戸税関が「梨」「柿」について特集しました。

今回はそれらの果物のその後の
動向をまとめてみました。



(注1)本特集における「果物」、「ぶどう」、「もも」、「いちご」、「柿」、「梨」は以下の輸出統計品目表に分類されるものを集計したものです。

「果物」 第8類(食用の果実及びナツ、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮)、「ぶどう」 0806.10-000(ぶどう-生鮮のもの)

「もも」 0809.30-000(桃(ネクタリンを含む。))、「いちご」 0810.10-000(ストロベリー)

「梨」 0808.30-000(梨) 旧品目番号0808.20-000(なし及びマルメロ)、「柿」 0810.70-000(柿) 旧品目番号0810.90-100(かき)

(注2) 本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

「近畿圈」：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山、「首都圈」：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨

「中部圈」：愛知、岐阜、三重、長野、靜岡、「九州圈」：福岡、山口、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿兒島、沖繩

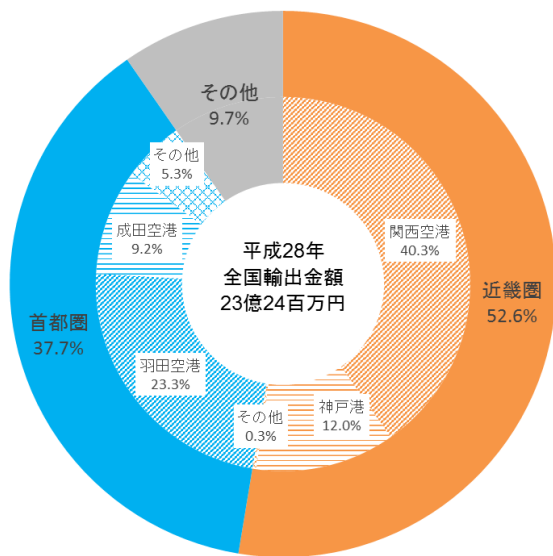


【経済圏・港別 輸出金額シェア】

平成28年の近畿圏からのぶどうの輸出金額の全国シェアは52.6%となり、経済圏別で第1位となりました。

近畿圏の中では関西空港が全国シェア40.3%で港別で第1位、神戸港が12.0%で第3位となっています。

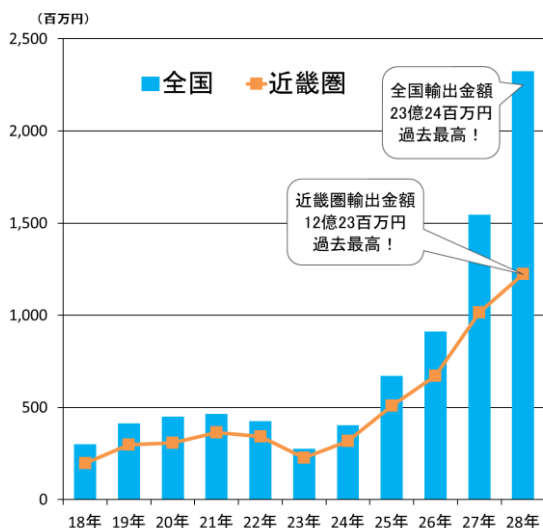
業界によると、近畿圏から輸出されるぶどうの主な産地は岡山県、長野県、山梨県などだそうです。



【輸出金額推移】

平成28年の全国からのぶどうの輸出金額は23億2400万円となり過去最高を更新しました。これは10年前の平成18年と比べ約8倍となっています。

近畿圏からの輸出金額も過去最高となる12億2300万円となりました。

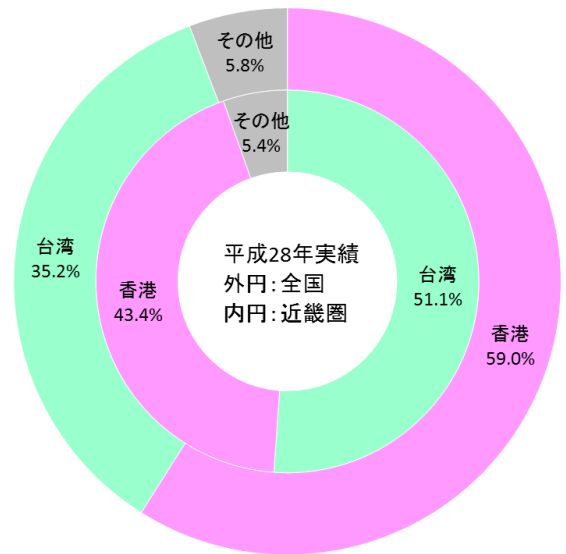


【国別輸出金額シェア】

平成28年の輸出国別シェアは、全国では第1位が香港で59.0%、第2位は台湾で35.2%となりました。

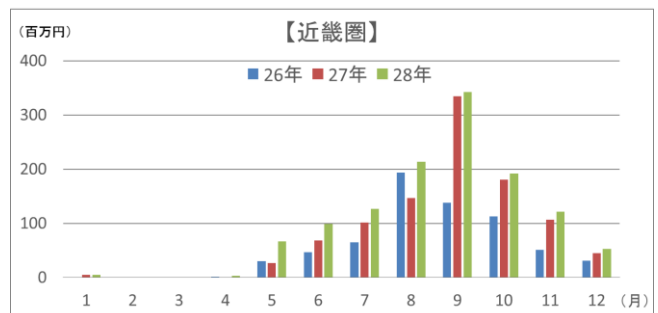
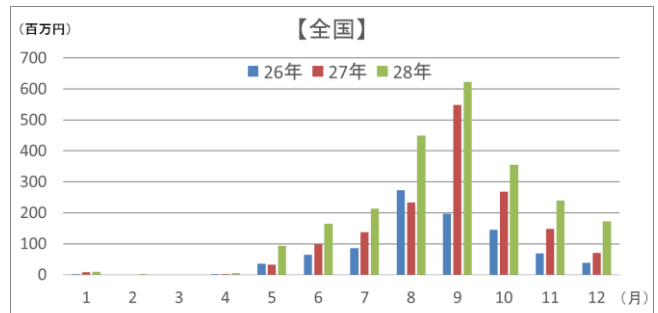
近畿圏では第1位が台湾で51.1%、第2位が香港で43.4%となっています。

全国、近畿圏ともに香港、台湾の二か国で全体の9割以上を占めています。



【月別輸出金額動向】

過去3年間の月別輸出金額の動向を見ると、ぶどうが旬を迎える9月をピークに夏から秋にかけての輸出が多くなっています。



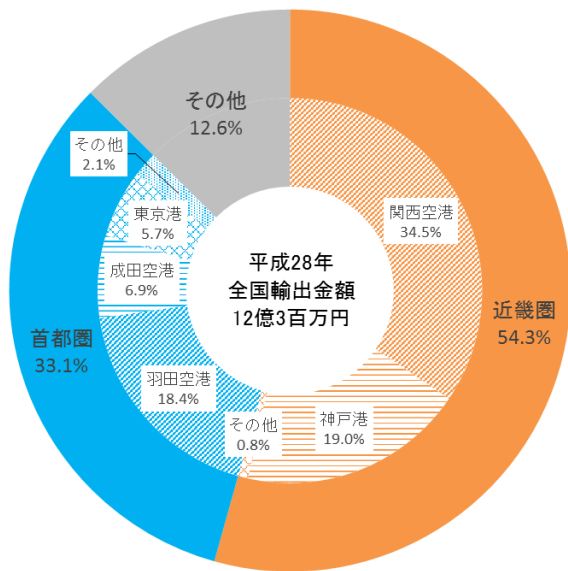


【経済圏・港別 輸出金額シェア】

平成28年の近畿圏からのものの輸出金額の全国シェアは54.3%となり、経済圏別で第1位となりました。

港別シェアでは関西空港が全国シェア34.5%で港別で第1位、神戸港が19.0%で第2位となっています。

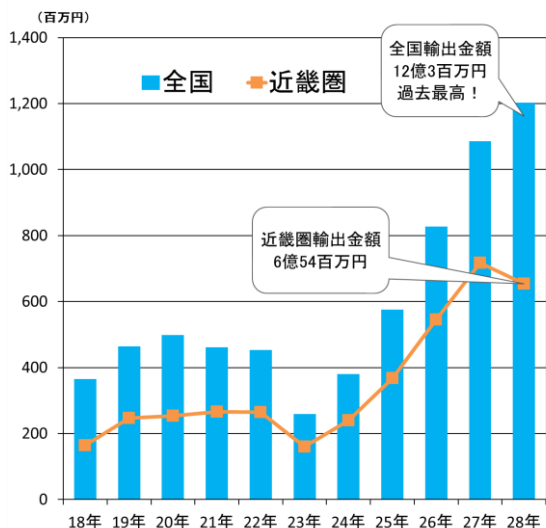
業界によると、近畿圏から輸出されるものの主な産地は和歌山県、岡山県、長野県、山梨県、山形県などだそうです。



【輸出金額推移】

平成28年の全国からのものの輸出金額は12億3百万円となり過去最高を更新しました。これは10年前の平成18年と比べ約3倍となっています。

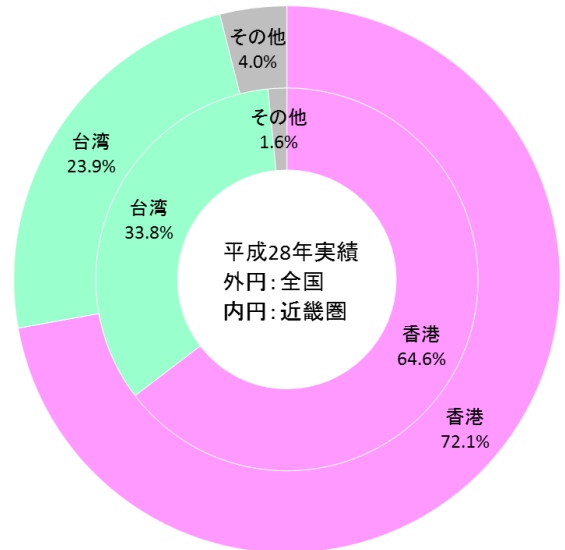
近畿圏からの輸出金額は前年の平成27年と比べ若干減少しましたが、歴代2位となる6億54百万円となりました。



【国別輸出金額シェア】

平成28年の輸出国別シェアは、全国・近畿圏ともに香港が第1位、台湾が第2位となっています。

全国、近畿圏ともに香港、台湾の二か国で全体の9割以上を占めています。



【月別輸出金額動向】

ものの過去3年間の月別輸出金額の動向を見ると、やはり旬である夏の7～9月の3か月間に集中していることがわかります。

